

屋内用

HITACHI

取扱説明書

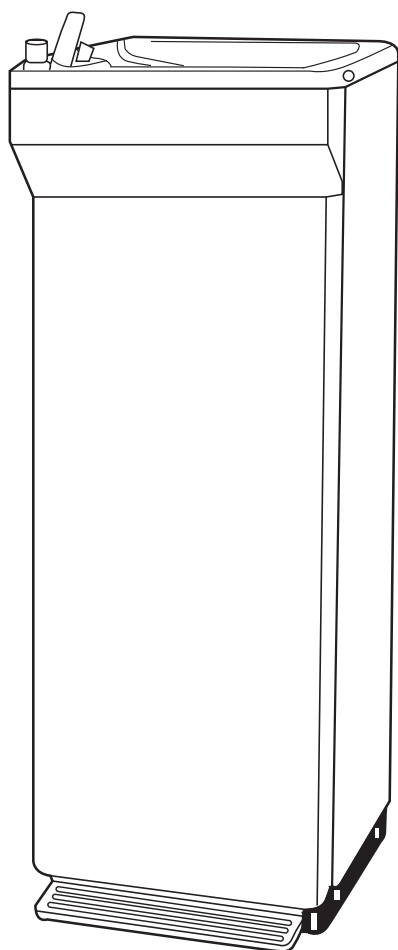
保証書別添付

日立ウォータークーラー **業務用**

型式

アールダブルユー ビー

RW-226P



このたびは、日立ウォータークーラーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。**この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。**

お読みになったあとは、保証書・据え付け説明書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」 **→ P.2～3** をお読みいただき、正しくお使いください。



この製品には地球温暖化係数(GWP)が1430のフロン類(HFC-134a)が封入されています。地球温暖化防止のため、修理・廃棄等に当たってはフロンの回収が必要です。

【冷媒の「見える化」表示について】

この表示は、本製品に温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識して頂くための表示です。

もくじ

●安全上のご注意	2～3
●据え付け上の注意事項 ●使用上の注意事項	
●修理時の注意事項	
●各部のなまえと働き	4
●据え付けについて	5
●据え付け場所について ●放熱のための隙間について	
●本体を床面に固定するとき ●アース接続について	
●お使いになる前に	6～7
●前パネルの外し方、取り付け方	
●冷却タンク内の洗浄 ●ボタン連続レバーのセットのしかた	
●冷却タンク内への給水 ●ノズルから出る飲料水量調節	
●お使いになる前に知っておいていただきたいこと	8
●このようなことにもご注意を	8
●ご使用方法	9
●衛生的にお使いいただくために ●水抜き	
●水抜きのしかた	
●運転を再開するときは	
●お手入れと点検について	10～11
●お手入れの方法 ●お手入れのポイント	
●定期的な点検	
●お困りのときは	12
●保証とアフターサービスについて	13
●仕様	14
●別売品	14
●お客様ご相談窓口	16

日本国内用
Use only in Japan.









安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。








■ここに示した注記事項は、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	絵表示の例	
 注意	「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。	 「警告や注意を促す」内容のものです。	 してはいけない「禁止」内容のものです。
		 実行していただく「指示」内容のものです。	

■据え付け上の注意事項

 警告	
 厳守	不安定な場所に設置しないでください。 転倒・落下によるけがなどの原因になることがあります。
 水ぬれ禁止	屋外に据え付けしないでください。また、水の掛かる場所や湿気の多い場所には据え付けしないでください。 絶縁が悪くなり、漏電し感電や火災の原因となります。
 アース設置	アースを確実に取り付けてください。 故障や漏電の時、感電の原因になることがあります。 アース工事は、必ず販売店または専門業者に依頼してください。
 厳守	定格15A交流100Vのコンセントを単独で使ってください。 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
 注意	
 厳守	専用の漏電遮断器を設置してください。 お買上げの販売店または専門業者に依頼してください。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
 禁止	油・可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。 万一漏れてウォータークーラーの周辺にたまると、発火の原因になることがあります。

■使用上の注意事項

 警告	
 禁止	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因になることがあります。
 厳守	電源プラグはコンセントに刃の根元まで確実に差し込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください。 異常発熱や火災の原因になることがあります。
 禁止	電源プラグをウォータークーラーの背面で押しつけないでください。 電源プラグを傷つけ、感電や火災の原因になることがあります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	本体に水を掛けないでください。 電気部品に水が掛かると感電や火災の原因になります。
 禁止	定格電圧（単相100V）以外で使わないでください。 定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。

……安全上のご注意（続き）

■使用上の注意事項（続き）

⚠ 警告



ウォータークーラーの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。
転倒・落下によりけがや破損の原因になることがあります。



可燃性スプレーを近くで使わないでください。
電気接点のスパークで引火するおそれがあります。



可燃性ガスなどのガス漏れがあったときには、ウォータークーラーやコンセントには手を触れず、窓を開けて換気してください。
引火爆発し、火災や火傷の原因になることがあります。



プラグを抜く

焦げ臭いなどの異常がある場合は、電源プラグを抜き、運転を中止し、お買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口にて点検・修理を依頼してください。
異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。



接触禁止

空気の吹き出し口や吸い込み口に指や棒などを入れないでください。
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。
吹き出し口や吸い込み口に触らないでください。端面で指をけがするおそれがあります。



接触禁止

ノズルを塞がないでください。
内部の部品が破損し、水漏れの原因となります。

⚠ 注意



禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



プラグを持つ

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。



厳守

給水源に貯水槽や浄化装置がある場合は、水質にご注意ください。
雑菌により健康を害するおそれがあります。



厳守

冬期など周囲温度が0℃以下になるときは、水抜きをしてください。
配管系に飲料水が残っていると凍結し、配管を破損させて水漏れの原因になります。



厳守

長期間ご使用にならない時は、必ず水抜きをし電源プラグをコンセントから抜いてください。
飲料水の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。



厳守

毎日1回、必ず5分以上通水してください。また、定期的に（月に1回程度）タンク内を洗浄してください。
飲料水が腐敗する原因となることがあります。



厳守

素足でペダルを使用する場合は、ペダルとの挟まれにご注意ください。
ペダルの下に挟まれ、けがのおそれがあります。



厳守

ノズル、ノズルカバーのメッキが剥がれた箇所は絶対に触らないでください。
剥がれたメッキでけがをするおそれがあります。

■修理時の注意事項

⚠ 警告

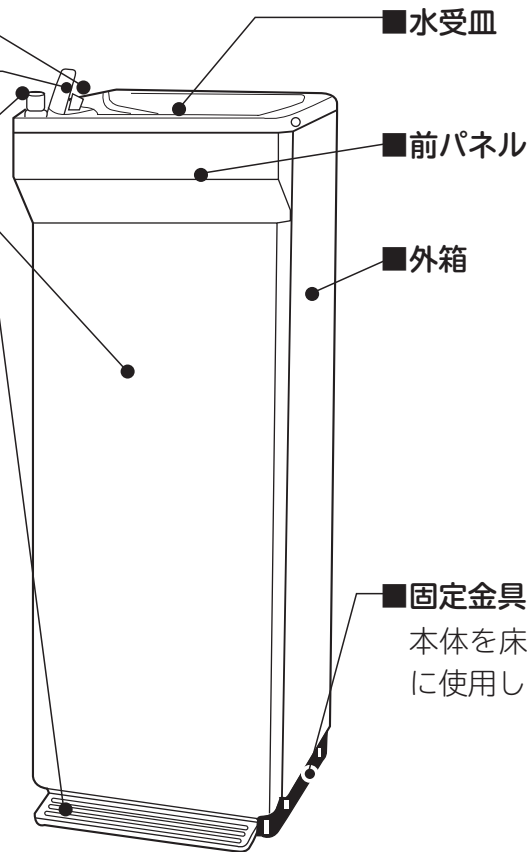


分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作して、けがをすることがあります。

各部のなまえと働き

- ノズル
- ノズルカバー
- ボタン
押すと、ノズルから飲料水が出ます。
- 前カバー
- ペダル
踏むと、ノズルから飲料水が出ます。



■固定金具 (付属2個)
本体を床面に固定するとき
に使用します。 → P.5

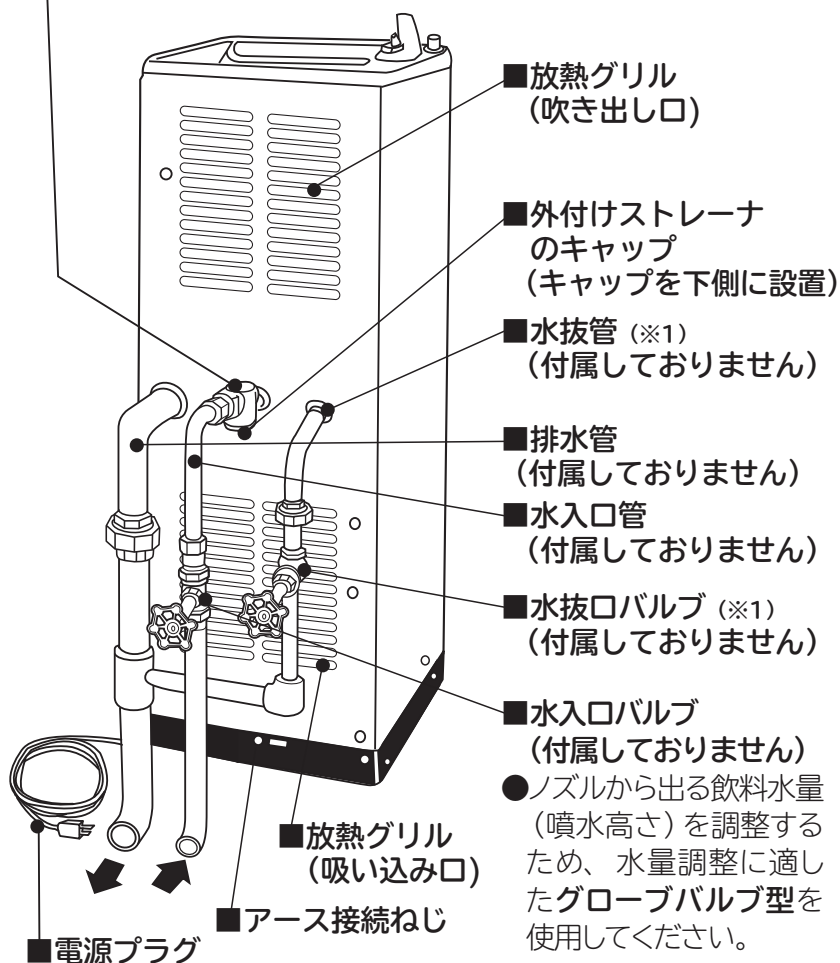
■外付けストレーナ(付属)

ウォータークーラーに直付け

- 配管内のゴミ、水あかなどがウォータークーラー内に侵入するのを防止するため、付属の外付けストレーナを矢印がウォータークーラーに向かう方向で、給水口にに取り付けてください。

外付けストレーナの掃除方法

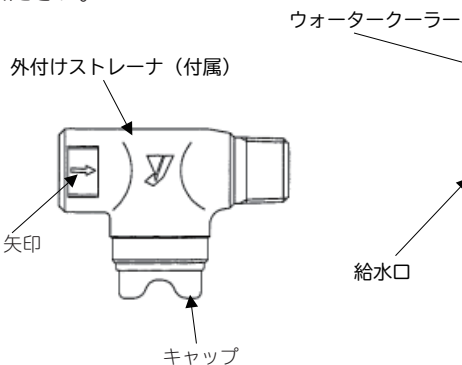
- 外付けストレーナの掃除は1回/月を目安に行ってください。
- 外付けストレーナを掃除する時は、必ず水入口バルブを閉めてください。また、外付けストレーナを開けた時に外付けストレーナ内の水が垂れますので、外付けストレーナの下にバケツなどを置いてください。
- 一度押しボタンまたはペダルを操作して、水が出ないことを確認してください。
- 外付けストレーナのキャップを手で回して外してください。回すのが硬い場合はモンキレンチなどを使用して行ってください。
- スクリーンが付いたキャップが外れますので、スクリーンの外側から流水を掛けてスクリーン内側に付いたゴミを除去してください。
- ゴミがスクリーンの網目に入り込み流水だけで取れない場合は、流水を掛けながらスクリーンの外側から歯ブラシ等を使用して、網目に入ったゴミを押し出してください。
- キャップをストレーナ本体に手回しでキャップと本体の隙間がなくなるまで回して取り付けてください。
- 水入口バルブを開けてキャップから水が漏れていないことを確認してください。
- ボタンまたはペダルを操作して飲料水を取り出してください。最初はノズルから飲料水がいきおいよく飛び出したり、空気と飲料水が混じって噴出します。ノズルにコップをかぶせ飲料水の飛び散りを防いでください。



- ノズルから出る飲料水量 (噴水高さ) を調整するため、水量調整に適したグローブバルブ型を使用してください。

※背面図の配管接続は、据付工事の一例です。

※1 水抜口バルブ、水抜管は冷却タンクの洗浄に必要です。必ず接続してください。また、水抜口バルブが接続されていないとノズルから水が出なくなります。



据え付けについて

据え付け工事は専門の技術が必要ですので、お買い求めの販売店または工事店にご相談いただき、水道事業者（各水道局等）または水道事業者の指定を受けた指定給水装置工事業者に工事をご依頼してください。なお、費用や据え付け場所の選定も販売店または工事店にご相談ください。

- 給水源には必ず水質基準（厚生労働省令第101号）に適した飲料水をご使用ください。
- 給水圧はゲージ圧 0.15 ～ 0.7MPa の範囲内でお使いください。

警告

- 据え付け工事は水道事業者または水道事業者の指定を受けた指定給水装置工事業者に工事をご依頼してください。
お客様ご自身で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

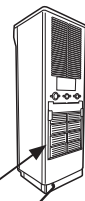
据え付け場所について

警告

- 屋外および屋内でも雨の吹き込む場所には据え付けしないでください。
絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。また、機器のさびの原因になります。
- 水の掛る場所や湿気の多い所に据え付けしないでください。
プールサイドや浴室など水の掛る場所や湿気の多い所では、絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。また、機器のさびの原因になります。
- 不安定な場所に設置しないでください。
転倒、落下によるけがなどの原因になることがあります。また、振動や騒音、水漏れの原因になったり、機器が正常に動作しないおそれがあります。

注意

- 周囲温度が0℃以下になり凍結するおそれのある場所には据え付けしないでください。
周囲温度が0℃以下になり凍結するおそれがあるときは、必ず水抜きをしてください。配管の破損により水漏れし、周囲（家財など）をぬらす原因になることがあります。
- 据付面がぬれても差し支えないところに据え付けてください。
給排水配管の水漏れや、結露水の発生から周囲（家財など）をぬらす原因になります。また、電気器具やコンセントなどに水が掛ると、感電や火災の原因になることがあります。
- 焼き肉、お好み焼、すしなどの飲食店や、食品などを製造する工場では直接、油煙（オイルミスト）、塩分、酢、アルコールなどを含んだ空気を吸い込まない位置に据え付けてください。
油分、塩分、酢、アルコールの成分などが付着すると、プラスチック部品に亀裂が生じたり、熱交換器などの金属部品が腐食することで冷えなくなる恐れがあります。
- 海浜地区で潮風が直接当たる場所や温泉地帯など、周囲環境が特殊な場所でご使用になる場合は、販売店と良くご相談ください。
塩害、ガス害による故障または損傷については、保証外となります。
- 熱気の少ない所に据え付けてください。
直射日光やコンロなどの熱影響を受けると、冷却力が弱くなります。また、周囲温度 30℃以下の所に据え付けてください。35℃まではご使用になれますが、冷却力が弱くなります。
- ほこりの少ない所に据え付けてください。
銭湯・スポーツジム・学校等繊維系のほこりが発生し易い場所でご使用の場合は、製品購入時より、別売品のフィルター（スイコミ）をご使用ください。フィルターを定期的にお掃除いただくことで、凝縮器にほこりが入ることによる、冷却能力低下を防止することができます。別売品に付いては **➡ P.14**



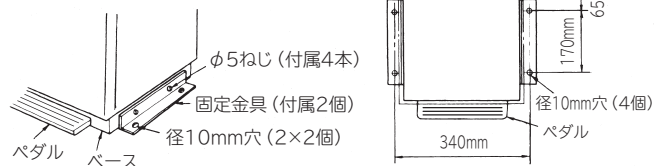
フィルター

放熱のための隙間について

- ウォータークーラーの周囲には、図のような隙間をとってください。
隙間をとらないと、冷却力が弱くなり電気代のむだにもなります。
- 放熱グリルの周囲は、カバーなどで覆わないでください。

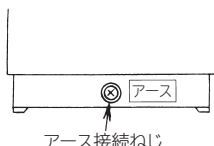
本体を床面に固定するとき

- 転倒防止のため、ベースの両側面に付いている固定金具を図のように反転して取り付け、市販のM8 アンカーボルト等を使用して床面に固定してください。



アース接続について

- 万一、漏電した場合の感電防止と機械の保護のために必ず正しいアースをしてください。アースはD種接地工事（電気設備基準で定める接地抵抗100Ω以下のもの）が必要です。お買い求めの販売店に依頼してください。
- アース線は背面にあるアース接続ねじに接続してください。



アース接続ねじ

警告

- アース工事を必ず行ってください。
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。アース工事は必ず、販売店または専門業者に依頼してください。

お使いになる前に

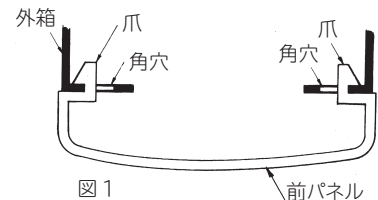
前パネルの外し方、取り付け方について

前パネルは次のようなときに外します。

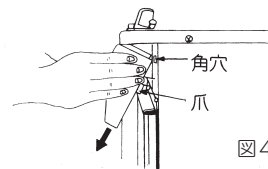
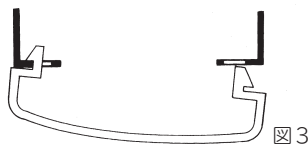
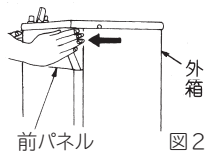
- ・ボタン連続レバーをセットするとき **➡ P.7**
- ・水抜きをするとき **➡ P.9**

前パネルの外し方

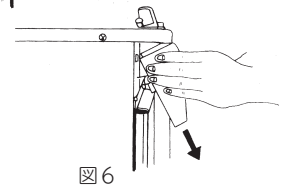
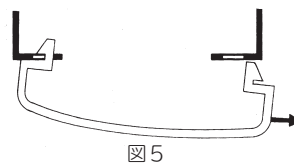
前パネルは図1のように前パネルの爪が外箱の角穴に掛かって取り付いています。前パネルを外すときは次の手順で行います。



- 1 前パネルの左右どちらかの側面の **■** マークを手で軽くたたくようにして内側に押し (図2)、前パネルの爪を外箱の角穴から外し (図3)、手前下方に下げます (図4)。



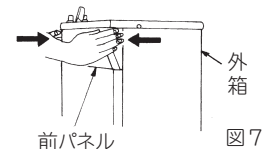
- 2 爪を外した側に横にずらし (図5)、手前下方に下げます (図6)。



前パネルの取り付け方

前パネルを取り付けるときは次の手順で行います。

- 1 前パネルの爪を外箱の角穴に合せ両側面を内側に押しします。(図7)
- 2 そのまま後方に押しつけ、前パネルの爪を箱の角穴に確実に入れます。

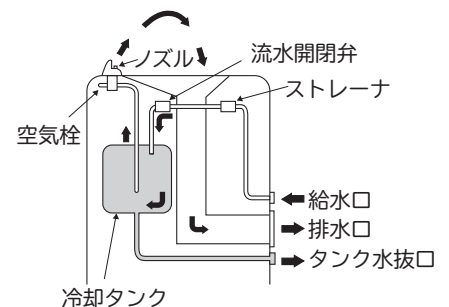


冷却タンク内の洗浄

据え付け当初は、飲料水に配管などの臭い移ることがあります。臭いが消えるまで次の手順で充分水を流してください。

- 1 タンク水抜口に接続している水抜口バルブを開けます。
各部のなまえは **➡ P.4**
- 2 給水口に接続している水入口バルブを開けます。
- 3 ボタン連続レバーをセットします。 **➡ P.7**
冷却タンク内および配管内を水が通過し、洗浄されます。
(ボタン連続レバーをセットする代わりに、ペダルを踏み続けるか、ボタンを押し続けても結構です。)
- 4 洗浄が終了したら連続レバーを外し、水抜口バルブを閉めます。

<水の流れ系統図>

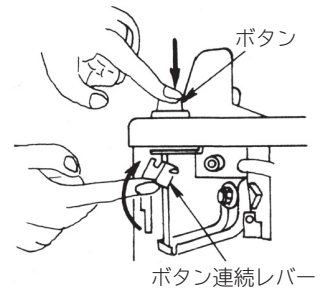


⚠注意

- タンク内の洗浄は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

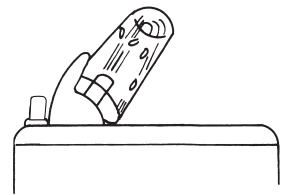
ボタン連続レバーのセットのしかた

- 1 前パネルを外します。前パネルの外しかたは **➡ P.6**
- 2 図のようにボタンを押したまま、ボタン連続レバーを上方に90°回します。
- 3 そのままボタンを離して、ボタン連続レバーをセットします。
●再度ボタンを押すと、ボタン連続レバーが外れます。



冷却タンク内への給水

冷却タンク内などの洗浄が終わりましたら、水抜口バルブを閉めて再度ボタン連続レバーをセットしてください。冷却タンク内に水が入るとノズルからタンク内の空気が飲料水と混じって噴出されます。正常な噴水になるまで、図のようにコップをノズルにかぶせ飲料水の飛び散りを防いでください。正常な噴水になったら、ボタンを押して連続レバーを外します。

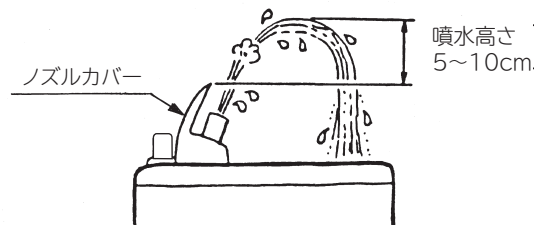


ノズルから出る飲料水量調節

ノズルから出る飲料水量調節は次の手順で水入口バルブの開閉で行います。 **➡ P.4**

- 1 水入口バルブをいったん「全閉」にして、ボタン連続レバーをセットしてください。
- 2 水入口バルブをゆっくり開けてゆき、ノズルから出る飲料水量を見ながら調節してください。
- 3 再度調節を行う場合は水入口バルブを再度「全閉」にしてから行ってください。噴水の高さはノズルカバーの上端より5~10cmが適切です。（給水圧はゲージ圧0.15~0.7MPaの範囲内での調整です）

飲料水は、出した瞬間だけ高く飛び、水受皿から飛び出すことがあります。飲料水を出した瞬間も水受皿から飛び出さない高さに、水入口バルブで飲料水量を調節してください。



お使いになる前に知っておいていただきたいこと

●以下の項目をよくお読みいただき、範囲外の使用はさけてください。

1 運転可能な周囲温度は1℃～35℃です。

- 周囲温度が0℃以下の場合、配管内の水が凍結し使用できなくなるばかりか、配管を破損することがあります。周囲温度が0℃以下になり凍結するおそれがあるときは必ず水抜きをしてください。水抜きのしかたは **➡ P.9**

2 飲み頃の水温になるまでの時間

- 冷却タンクへの給水が完了し、運転開始後飲み頃の水温（25℃→約10℃）になるまで約20分かかります。
- 冷却タンク内の洗浄後も飲み頃の水温（25℃→約10℃）になるまで約20分かかります。

3 ノズルからの水溢れ

- ノズルより水が継続的に溢れる現象が起こることがあります。次の方法で確認をしてください。

確認方法	水溢れ	処置
電源コードをコンセントから抜く	止まる	異常ではありません。水を冷やすためにタンク内に氷が生成することで起こる現象です。
	止まらない	故障の可能性があります。お買い上げの販売店にお問い合わせください。 ➡ P.16

このようなことにもご注意を

1 断水のときは

- 断水が予告されたり、断水に気付いたときは、水入口バルブを閉めてください。水入口バルブを開けておきますと、通水されたときに赤水が出て、“詰まり”の原因になることがあります。

2 いったん運転を停止したら

- いったん停止したあと、運転を開始するまで3分以上間をおいてください。すぐに運転を開始しますと運転がうまく行われず、ガタガタ音がすることがあります。万一そのような状態になったときは、すぐに運転を停止させ、3分以上間をおいてから再び運転を開始すれば正常に運転します。

3 改造してご使用にならないでください。

- ノズルからさらに配管を延長したり、その配管にバルブを接続してお使いになりますと、冷却タンク内に大きな圧力がかかり、タンク亀裂・水漏れのおそれがあります。
- ノズルに配管等を接続すると、ノズル、ノズルカバーのメッキ剥がれのおそれがあります。

4 冬期の凍結について

- 冬期など周囲温度が0℃以下になり凍結のおそれがあるときは、必ず冷却タンクや配管の水抜きをしてください。水抜きをしないと冷却タンクや配管が破損するおそれがあります。水抜きのしかたは **➡ P.9**

ご使用方法

1 運転開始

電源プラグをコンセントに差し込むと運転を開始しますが、冷却タンク内の洗浄、冷却タンク内への給水作業が必要です。冷却タンク内への給水 **➡ P.7** が完了後、飲み頃の水温（25℃→10℃）になるまでに約20分かかります。その後、ご使用できます。また運転を行うと、運転後しばらくして一時的に冷却装置が運転を中断することがあります。この時は水温が飲み頃になったときです。（故障ではありません）

2 飲料水の取り出し方

ペダルを踏むまたは、ボタンを押すと、ノズルから飲料水がでます。

衛生的にお使いいただくために

衛生的にお使いいただくため、次のことにご注意ください。

■毎日1回通水してください。

新鮮な飲料水をお飲みいただくため、必ず毎日使用開始30分前に、5分以上ノズルから飲料水を流してください。

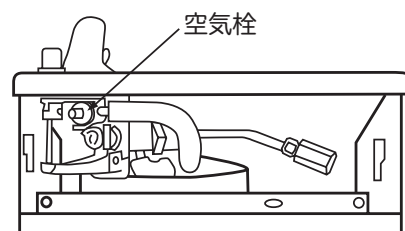
■毎月1回冷却タンク内を洗浄してください。冷却タンク内の洗浄は **➡ P.6**

冷却タンク内全体を洗浄するため、必ず毎月1回は水抜口バルブを開けて5分以上水を流してください。

水抜きのかた

周囲温度が0℃以下になって凍結するおそれがあるとき、または1週間以上ご使用にならない場合は次の手順で冷却タンクや配管の水抜きをしてください。

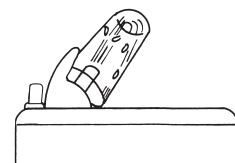
- 1 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 給水口に接続してある水入口バルブを閉めます。 **➡ P.4**
- 3 水抜口バルブを開けます。 **➡ P.4**
- 4 前パネルを外し、空気栓を時計方向に90°回してから引っ張り取り外してください（空気栓をなくさないように保管してください）。（約3分ほどで冷却タンク内の水が排水されます。）前パネルの外し方は **➡ P.6**
- 5 ボタンを押すまたはペダルを1秒ほど踏みます。
- 6 外付けストレーナのキャップを外します。 **➡ P.4**
- 7 スクリーンが汚れている場合は掃除を行ってください。 **➡ P.4**
- 8 ボタンを押すまたはペダルを1分ほど踏み続けます。（配管内の水が外付けストレーナから排水されますので、バケツ等で受けてください）
- 9 空気栓を入れ反時計方向に90°回して取り付けます。



運転を再開するときは

水抜きを行ったあとは、次の要領で運転を再開してください。

- 1 空気栓が取り付けであることを確認してください。
- 2 水入口バルブおよび水抜口バルブを開け、ボタン連続レバーをセットし、5分以上冷却タンク内を洗浄してください。 **➡ P.4**
- 3 水抜口バルブを閉めてください。冷却タンク内に水が入るとノズルからタンク内の空気が飲料水と混じって噴出されます。正常な噴水になるまで、図のようにコップをノズルにかぶせ飲料水の飛び散りを防いでください。
- 4 ボタン連続レバーを外し、電源プラグをコンセントに差し込むと、運転が再開します。その際、ボタンまたはペダルを操作し、飲料水の取り出しが正常に動作するか確認ください。



お手入れと点検について

お手入れの方法

ウォータークーラーを長持ちさせるため、定期的にお手入れをしてください。お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本体表面のお手入れ（週に1回程度）

- 柔らかい布で拭いてください。
汚れのひどいときは、柔らかい布に台所用合成洗剤（中性）を入れたぬるま湯を含ませて拭いてください。拭いたあとは、洗剤が残らないようきれいな水を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。電気部品の周囲は、固く絞った布で拭いてください。
- 直接水を掛けないでください。
水が掛かると絶縁が悪くなったりさびたりします。
- 次のようなものは使わないでください。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉せっけん・みがき粉・アルカリ性洗剤・熱湯・たわし・酸など。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書に従ってください。

水飲み口周囲

- ノズルや水受皿などの水飲み口周囲は、消毒用エタノールを吹きかけた後、固く絞った布で水拭きし、こまめにお手入れをしてください。（週に1、2回程度）
- 汚れがひどいときは、本体同様柔らかい布に台所用合成洗剤（中性）を入れたぬるま湯を含ませて拭いてください。拭いたあとは、洗剤が残らないようきれいな水を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。
- ボタンの周囲に水を掛けて掃除しないでください。内部に水が入り、感電や火災の原因になります。

水受皿

- 水受皿は耐食性の良いステンレスを使用していますが、表面にもらいさびが発生することがあります。そのまま放置するとステンレスがさびることがありますので、こまめにお手入れしてください。
- もらいさびが発生した場合は、クレンザーなどで洗浄してください。洗浄したあとは、クレンザーが残らないようきれいな水を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。

外付けストレーナの掃除（月に1回程度）

- P4「外付けストレーナの掃除方法」に従い掃除を行ってください。

水受皿に水あかが付着した場合のお手入れ

- クエン酸水（約10%程度）を直接水あか付着部に吹き付けてください。その際、ラップやティッシュなどで水あか付着部を湿らせた状態にし、10分程度放置してください。
- ナイロン・ポリエステル不織布に水を含ませ水あか付着部を軽くこすってください。
- 最後に、水またはぬるま湯を含ませた柔らかい布で、クエン酸をよく拭き取ってください。（クエン酸が残ると、さびの原因となることがあります。）
- ナイロン・ポリエステル不織布には研磨剤入りの物があります。強くこすると傷の原因となりますので注意して行ってください。
- お使いになるクエン酸、ナイロン・ポリエステル不織布の注意事項に従ってお使いください。

警告

- ぬれた手で電源プラグなど電気部品に触れたりしないでください。
感電の原因になります。
- 水を掛けないでください。
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。
- 電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭きとってください。
ほこりでショートしやすくなり、火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。

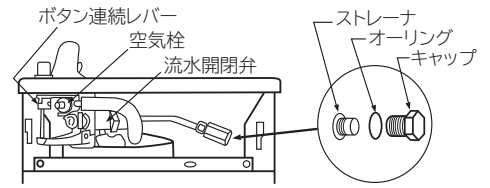
注意

- 水飲み口周囲のノズル、ノズルカバーの剥がれたメッキによって手を切るおそれがあります。剥がれたメッキには絶対に触らないでください。
- メッキに傷、剥がれ等があった場合は使用を中止して、すぐにお買い上げの販売店に連絡して、部品交換を行なってください。

お手入れのポイント

ストレーナ

前パネルを外すと、ストレーナが図の位置に組み込まれています。ストレーナにごみなどが詰まると、水の出が悪くなります。ごみなどが詰まった場合、ピンセットで取り除いてください。キャップは、ケースとキャップそれぞれにスパナをかけて外してください。前パネルの外し方は **➡ P.6**



- ストレーナは図の向きで奥まで確実に挿入してください。
- オーリングはキャップの溝に確実に挿入し、キャップ締付け後は水漏れを確認してください。

定期的な点検しましょう

安心してご使用いただくために、半年～1年に1度定期的に次のような点検を行ってください。そのとき、もしご不審な点がありましたら、すぐお買い上げの販売店にご連絡ください。（年に1、2回）

- 電源プラグは、コンセントにしっかり入っていますか？
- 電源プラグに異常な発熱などありませんか？
- 電源コードに亀裂や、すり傷がありませんか？
- アース線は切れたり接続がゆるんでいませんか？

また、次の項目は月に1回を目安に点検してください。

- 飲料水は冷えていますか？
- 本体背面の放熱グリル周囲にほこりなどがたまっていますか？
- 水入口管・排水管・水抜管に水漏れはありませんか？

お困りのときは

修理を依頼される前に、次の点をもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店か弊社お客様ご相談窓口にご連絡ください。 ➡ P.16

こんなときは	ここを確認してください	直しかた
運転しない	電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	停電やブレーカー、ヒューズが切れていませんか。	ブレーカーが“OFF”になっている場合は、“ON”にしてください。 ヒューズが切れている場合は、新しいヒューズと交換してください。
よく冷えない	周囲温度が35℃以上あるいは、水道の水温が30℃以上になっていませんか。	周囲温度が35℃、給水の水温が30℃を超えないようにしてください。
	直射日光が当たったり、近くにコンロやレンジなどありませんか。	直接熱が当たらないようにしてください。
	周囲の隙間は適切ですか。	➡ P.5 を厳守してください。
	放熱グリルをカバーなどで塞いでいませんか。	放熱グリルを物で塞がないように配置してください。
	放熱グリルにほこりや紙くずがたまっていますか。	ほこりや紙くずを取り除いてください。
	水を入れ替えた直後ではありませんか。	少々お待ちください。飲み頃の水温になるまで約20分かかります。 ➡ P.8
	少し前に停電していませんか。	少々お待ちください。 飲み頃の水温になるまで約20分かかります。 ➡ P.8
短時間で多くの飲料水を取り出していないですか。	冷えるまでお待ちください。	
音がうるさい	不安定な所に設置されていませんか。	安定した所に設置してください。
	ウォータークーラーに何か物が触れていませんか。	外観に物が触れていないか確認してください。
水の出が悪い	給水圧が下がっていませんか。	水入口バルブを回して給水圧を上げててください。 ➡ P.4
	ストレーナにゴミが詰まっていますか。外付けストレーナも併せてご確認ください。	ストレーナのごみを取り除いてください。 ➡ P.4、11
水が出ない	水入口バルブが開いていますか。	水入口バルブを開いてください。 ➡ P.4
	水抜口バルブが開いていませんか。	水抜口バルブを閉めてください。 ➡ P.4
	断水や停電ではありませんか。	ご確認ください。
	配管が凍結していませんか。	ご確認ください。
水が臭う	据え付け当初は、飲料水に配管などの臭いが移ることがあります。	臭いが消えるまで「冷却タンク内の洗浄」を行ってください。 ➡ P.6
	水道水に含まれる塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	

これは故障ではありません

配管に露がつく	異常ではありません。これはコップに水を注いだとき回りに水滴が付くのと同じ現象で故障ではありません。
水が流れるような音がする	異常ではありません。これは冷凍サイクルの中の冷却液が流れる音（シュー）です。
ノズルから飲料水が溢れる	異常ではありません。これはタンク内の水を冷やすためにタンク内に氷が生成し、氷の体積膨張によって水がタンクから押し出されることで起こる現象です。 ➡ P.8
飲料水を出すとうるさい	異常ではありません。水圧の影響や水配管の弁の開閉度により、音が発生することがあります。

保証とアフターサービスについて(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障および損傷。
- (ニ) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。

保証期間：お買い上げの日から1年間です。(ただし、冷凍サイクル部品は3年間です。)

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

ウォータークーラーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

転居時は、取り外し、再据え付けが必要です。お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」(エコーセンター) **➔ P.16** にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは(出張修理)

➔ P.12 にしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申し付けいただくときは、下のことをお知らせください。

品名	日立ウォータークーラー
型式	RW-226P (正面操作パネル銘板に記載されている型式をお知らせください)
お買い上げ日	
故障の状況	できるだけ詳しく
ご住所	付近の目印等もお知らせください。
お名前	
電話番号	() -
訪問希望日	

※型式は保証書にも記載されています。

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業に掛かる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金を頂く場合があります。

仕様

この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数等の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

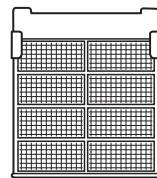
型 式	RW-226P
タンク容量 (L)	2
外形寸法 (mm)	幅340×奥行346×高さ1030
定格電圧 (V)	100
定格周波数 (Hz)	50/60共用
定格消費電力 (W)	176/190
性能 (L/h)	11/12
製品質量 (kg)	22
付属部品	外付けストレーナ (1個)、固定金具 (2個)、φ5ねじ (4本)

- 定格消費電力および性能は周囲温度30℃、入口水温度25℃、出口水温度10℃のときの値です。
- /で示す数値は左が50Hz、右が60Hzの値です。
- 本仕様は日本国内の使用においてのみ適用するものです。

別売品

■次の部品を購入する場合は、必ず販売店にお使いのウォータークーラーの型式をご指定のうえ、専用の部品をお買い求めになってください。

こんなときに	商品名	商品型式	希望小売価格
ほこりが発生し 易い場所で使用 されるとき	フィルター (スイコミ)	RW-225PD 020	5,800円 (税別)



- 上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

Handwriting practice area consisting of 20 horizontal dotted lines.

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68
 携帯電話・PHSから **0570-0031-68** (有料)
FAX 0120-3121-87
 (受付時間) 9:00~18:00(月~土)
 9:00~17:00(日・祝日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-3121-19
 携帯電話・PHSから **050-3155-0119** (有料)
FAX 0120-3121-34
 (受付時間) 9:00~17:30(月~土)
 日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただきます。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

愛情点検



長年ご使用のウォータークーラーの点検を！

こんな症状
はありませ
んか？

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷や変形がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- ピリピリと電気を感ずる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを外して、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄・整備時にご注意願います

この製品は、フロン排出抑制法の第一種特定製品です。地球温暖化防止のため、適正にフロン回収する必要があります。この製品を廃棄・整備する場合は、専門業者が行いますので、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- ① フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ② この製品を廃棄・整備する場合は、フロン類の回収が必要です。
- ③ 未回収の機器を引渡してはいけません。
- ④ フロン類の種類、地球温暖化係数および封入量

種類	地球温暖化係数	封入量
HFC-134a	1430	90g

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入してください。サービスを依頼される時に便利です。

お買い上げ日	年	月	日	型式	
購入店名	電話		()	

販売元 日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

製造元 日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目16番1号ニューピア竹芝サウスタワー

RW-226P ㊤